

第1回 町田市立町田第一中学校改築計画基本設計検討委員会・会議録

日 時 2016年7月1日(金) 18:00～20:10

場 所 市庁舎10階 10-3・4・5会議室

出席者

(委員)

野澤中町三丁目町内会相談役、澤田森野中央町内会長、中旭町二丁目町内会長、越水本町田町内会長、森貞PTA副会長、内山PTA副会長、花田町田第一中学校長、吉川学校教育部長

(関係職員)

市川教育総務課長、岸波施設課長、田中学務課長、佐藤保健給食課長、宮田指導室長、熊木指導課統括指導主事、勝又教育センター所長、徳重営繕課長、平川施設課担当課長、菅野施設課主任、小坂営繕課学校施設係長、綜企画設計(佐野・植村・関)

(事務局・教育総務課)

小宮担当課長、徳浪係長、新井担当係長、松村担当係長、大高主任

欠席者

(委員)

新井中町中央町内会長

傍聴人数 0名

<資料>

- ・町田市立町田第一中学校改築計画基本設計検討委員会設置要領【資料1】
- ・町田市立町田第一中学校改築計画基本設計検討委員会名簿【資料2】
- ・町田市立町田第一中学校改築計画基本設計検討委員会 開催予定表【資料3】
- ・町田第一中学校改築基本計画【資料4】
- ・町田市立町田第一中学校改築工事 設計指針(案)【資料5】
- ・町田市立町田第一中学校改築 予定表【資料6】
- ・2016年7月1日第一回検討委員会設計者作成資料【資料7】

会議概要

1 学校教育部長挨拶

既存校舎は老朽化、生徒及び教員の生活動線、安全管理、バリアフリーの課題が挙げられており、それらの解消のために改築を予定している。より良い改築を行うために、委員の方には忌憚のない意見をいただきたい。

2 各委員自己紹介

3 関係職員紹介

4 委員長・副委員長選出

設置要領第5の規定により、委員長及び副委員長の互選を行うが、立候補者がいないため、事務局案（野澤委員長、吉川副委員長）を提示し、承認された。

5 町田第一中学校の改築計画について

(1) 検討委員会の趣旨と今後の予定（教育総務課）

【資料1・3】に基づき説明あり。

- ・改築計画の基本設計にあたり、地域の方から広くご意見をいただき反映させ、より良い学校づくりに生かしたい。
- ・8月と9月に各2回検討委員会を行い、委員の意見をまとめ基本設計に反映させる。その後、2017年2月下旬を目途に、設計事務所が作成した基本設計等の報告を受け確認する回を設ける。今回を含め計6回の検討委員会の開催を予定している。

(2) これまでの経過と工事完了までの流れ及び設計方針説明（施設課）

【資料4・5・6】に基づき説明あり。

- ・2013年度に改築基本計画検討会を設置し、2014年3月に改築基本計画を策定した。その中で、校舎の工期は二期に分けること、グラウンドの位置は現在と同じ南側とすることを決定した。その後、工事中の代替グラウンドは本町田少年サッカー場とすること、施設の複合化は行わないことが決まり、2016年度に改築に向けた基本設計が始まった。
- ・設計指針は、検討項目の目録となるものである。「基本コンセプト」は、①教育力の向上、②安全で防災機能を有する施設、③環境負荷の低減、④地域とのつながり、の4つの目的を果たすための機能・資料を列挙したものである。「設計条件」は、周辺・配置計画、建物・設備計画、環境に配慮した計画のための機能・性能を列挙したものである。
- ・全体の流れとしては、2016年度に基本設計、2017年度は実施設計を行い、2018年度に工事を開始、2021年度末の工事完了を目指している。

(委員) 耐震(用途係数=1.25)はどの程度の数値なのか。

(関係職員) 公共施設の構造を基準とする指針では、町一中のような避難施設には1.25が求められている。係数が1.0でも震度6強までは耐えられる。

(委員) 熊本地震のように、震度6が連続して発生しても対応できるのか。

(関係職員) 現行の建築基準法では、連続して発生する地震は想定していない。国土交通省で検討に入った段階なので、法改正が間に合えば取り入れていく。

(委員) 意見として、①防音対策への配慮、②教育施策の変更にも対応できるよう、部屋数に余裕のある施設、③高機能な施設、④バリアフリーへの配慮、をお願いしたい。

(委員) 希望として、自校方式の中学校給食の検討をお願いしたい。

(3) 学校の建替えに関する事例や現状の説明（綜企画設計）

【資料7】に基づき説明あり。

- ・計画のポイントとして、①他のグラウンドへの送迎回数を減らす、②工区を分けることで、新校舎を利用できる生徒を増やす、③複合化は行わないが、地域開放への対応を考慮する、を考えている。
- ・課題事項として、①改築時の学習・校庭環境の確保、②通学・車両動線の変更、③計画後の校庭面積の確保、④階高の設定、が挙げられ検討する必要がある。
- ・基本計画に加え、2例の設計案の提示があった。
- ・伊勢市での事例紹介があった。

(委員) 町一中では述べ面積が1.5倍に増えるが、増床分の用途は何か。

(関係職員) 教室数を増やし、廊下・特別教室・特別支援教室の面積を広くしている。

(委員) テニスコートは無くなるのか。

(関係職員) 基本計画では無くなる予定だが、基本設計では検討の余地はある。

(委員) グラウンドのトラックの長さはどうなるのか。

(関係職員) 現状の一周200mを確保するが、直線での100mは建物の配置計画によるので、今後検討していく。

(委員) グラウンドの代替地として「町田シバヒロ」は使用できないのか。

(関係職員) 専用グラウンドとして使用することは難しいが、一部を使用することについては検討していく。

(委員) 意見として、敷地を有効に利用するため、建物を上方向に伸ばした計画はできないのか。

(委員) 意見として、現状はオープンスペースに余裕がないので、確保してほしい。

(委員) テニスコートを屋上に設置することはできないのか。

(関係職員) グラウンド以外のスペースを確保するための検討材料としては捉えている。

6 質疑応答

(委員) 特別支援学級に限らずエレベーターを使用することは想定されるので、設置してほしい。

(関係職員) 市の条例に基づき、現状の体育館棟とは別にエレベーターを設置する。

(委員) 建物の高さについて、既存建物は現状で限界なのか。

(関係職員) 基本計画では現校舎の高さで納める計画としている。しかし、高さ制限、日照規制等の基準内に納まるよう建物の配置、形状を工夫することで、部分的に高くできる箇所もあると思われるので、今後検討していく。

(委員) 校舎を南側に配置してはどうか。

(関係職員) 基本計画で検討したが、北側に配置される校庭が日陰になり、降雨・降雪後のグラウンドの利用及び整備に支障が生じるので、不採用とされている。

7 次回以降のスケジュール

第2回 8月 1日 (月) 9:30～

第3回 8月18日 (木) 14:30～

第4回 9月12日 (月) 14:30～

第5回 9月27日 (火) 14:30～